

・・・就労準備発・・・



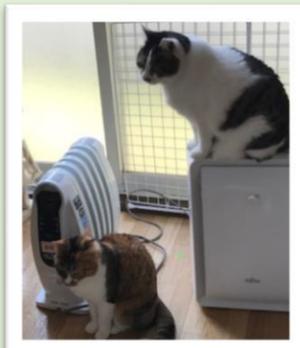
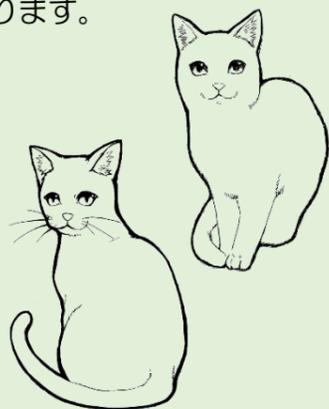
NPO 法人「猫の森」で
ボランティア活動に取り組んでいます

今回は、船橋市内で猫の保護活動に取り組んでいる NPO 法人「猫の森」でのボランティア活動についてご報告します。

ボランティアは就労準備支援事業の一環として行っているもので、活動内容は、朝のえさやりと排せつ物の清掃、飲み水の交換、保護部屋の掃除です。

施設に到着すると、えさを催促する猫達の鳴き声が聞こえてきて、就労準備の利用者も自然と顔がほころびます。ふだん人との関わりがあまりない方も、ここに来れば色々なボランティアの方たちと交流することができますし、話すことが苦手でも作業を通じて自然とコミュニケーションがとれるようになります。

また、お腹がいっぱいになって満足そうに毛づくろいをする猫達の姿を見ると、ほっこりと暖かな気持ちになり、心が癒されます。猫たちの世話をすることで、自分や他者を大切にすることや、自分が役に立つことを感じる事ができる貴重な機会となっています。



飼い主のいない猫たちが保護されています。



保護部屋の清掃などを行う就労準備支援事業の利用者さん。

職員紹介

さーくるに新しい仲間が
加わりました！



家計相談支援員 やだ たかし 矢田 隆 1月14日入職

1月から勤務しております矢田です。家計を見える化し、ご相談者の方々のご家庭の状況に応じた家計改善のお手伝いを少しでもできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

令和2年がスタートして早2ヶ月が経ちましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、恒例の花の話ですが、今号は梅についてです。梅は1月から咲き始めますが、ピークは2月。その花言葉は『不屈の精神』です。寒さのなか花開く梅にふさわしい花言葉ですね。さーくるも皆様と一緒に『不屈の精神』で困難に立ち向かえるよう、職員一同頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



【編集・発行】
船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる
(船橋市委託事業 社会福祉法人生活クラブ)
所在地：船橋市湊町2-8-11
市役所別館1階
TEL：047-495-7111
FAX：047-435-7100
E-MAIL：circle@kazenomura.jp

令和元年度
冬号



広報さーくる

- 内容
- ・あんしんねっと船橋スタート
 - ・令和元年度相談実績速報
 - ・庁内連絡調整会議の報告
 - ・相談の現場から
 - ・就労準備発
 - ・職員紹介

船橋市地域生活支援拠点システム
「あんしんねっと船橋」がスタートしました

令和元年10月、地域生活支援拠点システム「あんしんねっと船橋」がスタートしました。障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者が地域で安心して暮らしていけるよう、相談や緊急時の受け入れ、一人暮らしの体験の機会などを提供します。

今回は、「あんしんねっと船橋」の受託法人である社会福祉法人大久保学園で、拠点コーディネーターを務める小澤秀仁氏にお話をうかがいました。

—「あんしんねっと船橋」の登録状況などを教えてください。

昨年10月にスタートしてから、既に100名ほどの登録があり、今も拠点コーディネーターとの面談を待っている方が多くいらっしゃいます。

登録している方の中には、親の高齢化によって援助を受けられなくなる可能性がある方や、若い方では将来の安心のために登録する方などがいます。

登録するメリットとして、ご本人の障害の状況や医療情報を事前に把握することで、緊急時に、よりご本人に適した環境の受け入れ先を探すことができます。



拠点コーディネーター
小澤秀仁氏

— 一時的な居場所や体験の場はどこを利用するのでしょうか。

短期入所施設のほか、船橋市グループホーム連絡協議会との連携により、市内のグループホームの空き状況を把握することができます。現在、市内のほとんどのグループホームの事業所がこの連絡協議会に登録しています。

障害のある方やそのご家族が安心して暮らしていくためにどんな方法があるのかを、「あんしんねっと船橋」と一緒に地域全体で考えていけたらいいですね。

「あんしんねっと船橋」のお申込み・お問合わせ先

社会福祉法人 大久保学園（豊富町690-13 とよとみみらい内）
開所時間：平日9時から17時
※緊急時は24時間365日対応します。
電話：047-404-7776 FAX：047-404-1481
Mail：kyoten-soudan@ohkubogakuen.or.jp



あんしんねっと船橋
利用の流れ

相談・登録

FAXで申し込みをして、拠点コーディネーターと面談し、事前登録をします。
(緊急時の対応がスムーズになります)



緊急時の対応

緊急の場合の一時的な居場所や、短期入所先を拠点コーディネーターが調整します。

※ご本人が短期入所している間に今後の支援方針を検討します。



体験の場所の提供

一人暮らしをしたことがないので不安を感じている方へ、グループホームなど体験の機会・場を提供します。



**令和元年度
速報!**

令和元年 4月～11月
さーくるの相談実績を振り返りました!

日々様々な相談を受け付けているさーくるですが、今号は令和元年度の最終号ということで、令和元年4月～11月の相談実績の振り返りを行いました。目立った特徴をご報告します。

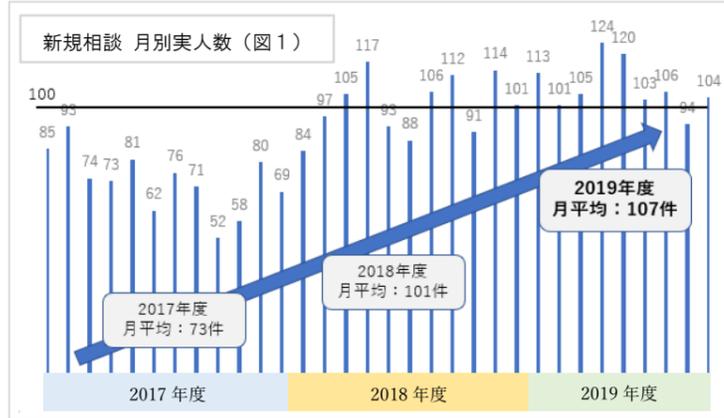
月平均 107 件

新規相談件数は、月平均 107 件 (図1)。

相談件数は年々増加、電話が繋がりにくい状況になっており、ご迷惑をおかけしています。

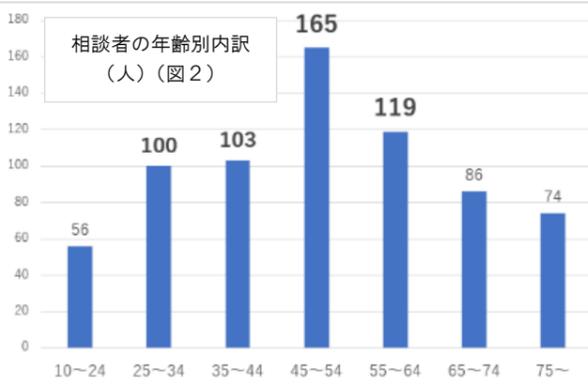
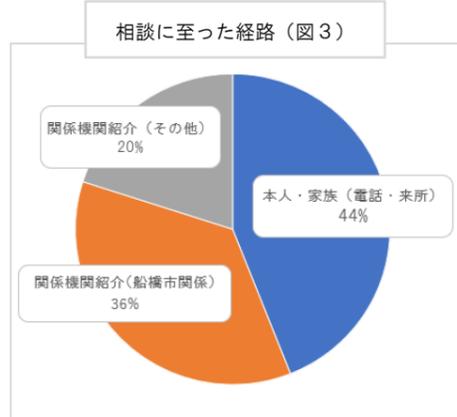
中高年層が増加

年齢層は、45歳～54歳の中高年齢層が突出して多く、失業して困窮した方や、ひきこもり状態にある方の相談が増えています (図2)。



他機関からの紹介が 6 割

相談に至る経緯は、関係機関からの紹介が6割 (図3)。紹介元は、福祉関係だけでなく、住宅関係、税・年金関係や教育機関、医療機関、総合案内など多様です。他機関から事前に情報提供や紹介した旨の連絡があると、相談者の負担も軽減し、スムーズな連携が図れます。



住まい、ローン、ひきこもり

相談内容は、生活費や病气、仕事探しが多くなっています (表1)。

家賃やローンの支払い、住まい、ひきこもり・不登校の相談は昨年より増加 (表2)。住宅関係や教育機関、弁護士との連携も増えています。

【相談内容で多いもの (表1)】

1	収入・生活費	446 件
2	病气や健康	296 件
3	住まい	214 件
4	仕事探し、就職	212 件
5	家賃やローンの支払	186 件

【昨年度から増加した相談内容 (表2)】

1	家賃やローンの支払	2.1%UP
2	住まい	1.1%UP
3	ひきこもり・不登校	0.9%UP

就職 36 人、収入増 6 人に

主な就職先業種は運搬・清掃・製造・警備。就職に至った方は36人、収入増加した方は6人。パート勤務が最も多く、月数万円の収入増加を目指して就職・転職活動をする方が多くみられました。

今年度も「制度の対象にならない方」や「困りごとをたくさん抱えている方」のご相談を多くお受けし、色々な機関の方と協働させていただきました。さーくるは、今後も皆様と一緒に支援の方法を考えていきたいと思ひます。



令和元年度 庁内連絡調整会議 を開催しました

テーマ「多様な課題を抱えた方への対応と連携」～より良い連携にむけて～

複数の困りごとを抱えている方や制度の対象にならない方は、行政の様々な課や機関が関わりますが、お互いの情報共有が十分に行えない場合もあると思ひます。

そこで、2月6日、「多様な課題を抱えた方への対応と連携」をテーマに、市役所関係部署や関係機関等を対象とした庁内連絡調整会議を開催し、70名ほどの行政関係者に参加いただきました。

講師には、千葉県中核地域生活支援センターがじゅまるのセンター長であり、国が設置する地域共生社会推進検討会構成員でもある朝比奈ミカ氏をお迎えし、国で検討されている内容や各部署でできることについてお話いただきました。事例をもとにグループワークも行い、意見交換もできました。



朝比奈ミカ氏を講師に迎えて。



行政の各部署の方々とグループワークを行いました。

講師の朝比奈氏からは、「対応に困ったときは一人で抱え込まず、部署内や他機関と一緒に考える姿勢が大切」とのお話がありました。

今後も、各部署間での連携をどう充実させるべきなのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

相談の現場から ～罪を犯した外国籍の方への支援～

外国籍の方の中には、価値観、言語、文化が異なる日本の生活の中で孤独を感じ、自尊心が低くなってしまふ方がいます。

事例

外国籍のMさん(40代)は、罪を犯し勾留されていました。さーくるでは、弁護士からの連絡を受け、ご本人と面談を行いました。ご本人の希望をお聞きすると、日本の文化になじめず、あきらめから投げやりな気持ちになっていました。精神疾患の疑いを感じたため、弁護士に医療的な措置を提案し、更生支援計画(地域に戻るための支援方針)を作成しました。

その結果、ご本人は服役せずに地域に戻ることとなりました。地域で暮らすにあたり、さーくるは医療機関と連携し、定期的な面談もし、心理面と体調の安定をはかりました。体調が安定した後は、就職することができ、現在は自信を取り戻して生活しています。

さーくるでは、相談者の価値観や気持ちを尊重しつつ、その方の歩幅に合わせた支援を心がけています。

